

## バリデーション審査結果等の概要

平成 22 年 3 月 29 日  
気候変動対策認証センター

### (1) プロジェクトの概要

プロジェクト名	美幌町低炭素な町づくりプロジェクト						
申請受理日	2010年1月25日						
プロジェクト代表事業者	森林バイオマス吸収量活用推進協議会						
プロジェクト事業者	北海道 美幌町						
プロジェクト参加者	北海設計株式会社美幌支店 美幌町森林組合						
オフセット・クレジット (J-VER) 取得予定者	森林バイオマス吸収量活用推進協議会						
プロジェクト概要	美幌町内の公共施設の中で、化石燃料を最も多く消費している公共の温泉施設「峠の湯びほろ」に木質チップボイラーを導入し（平成23年1月導入予定）、二酸化炭素の削減を図るとともに地球温暖化対策の普及啓発を図る。						
プロジェクト期間	2011年1月1日～2025年12月31日						
クレジット期間	2011年1月1日～2013年3月31日						
想定削減量	年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計
	t-CO2	0	0	122	369	369	860
ポジティブリスト	No. E. 004						
方法論	JEAM001：化石燃料から未利用の木質バイオマスへの燃料代替に関する方法論						

### (2) 審査結果

※審査内容におけるアルファベットは申請書、ローマ数字はモニタリングプランにおけるセクションをしている。

審査内容	バリデーションチームの審査結果
プロジェクト情報 (A・B)	申請書、証拠書類等を文書上で確認し、関係者に電話によるインタビューを行った結果、当プロジェクトの申請書におけるプロジェクト情報が重要性の点から適正に表示されており、オフセット・クレジット（J-VER）制度に依拠して作成されていることを確認した。
適格性要件（C）	申請書、証拠書類等を文書上で確認し、関係者に電話によるインタビューを行った結果、当プロジェクトの申請書における方法論 JAM001 の適用は実施規則及びポジティブリスト 001 に準拠しており、適格性要件を満たしていることを確認した。現地における実査を踏まえていないため、デスクレビュー及びインタビュ

	一によって判明した範囲において、重要性の点から適正に表示されており、オフセット・クレジット（J-VER）制度に依拠して作成されていることを確認した。
排出量・吸収量算定（I・II）	モニタリングプラン、証拠書類等を文書上で確認し、関係者に電話によるインタビューを行った結果、当プロジェクトのモニタリングプランにおける排出量算定は、方法論JEAM001及びモニタリング方法ガイドラインに準拠していることを確認した。なお、現地における実査を踏まえていないものの、デスクレビュー及びインタビューによって判明した範囲において、重要性の点から適正に表示されており、オフセット・クレジット（J-VER）制度に依拠して作成されていることを確認した。
モニタリング計画（III～VI）	モニタリングプラン、証拠書類等を文書上で確認し、関係者に電話によるインタビューを行った結果、当プロジェクトのモニタリングプランにおけるモニタリング計画は、方法論JEAM001及びモニタリング方法ガイドラインに準拠していることを確認した。現地における実査を踏まえていないものの、デスクレビュー及びインタビューによって判明した範囲によって、重要性の点から適正に表示されており、オフセット・クレジット（J-VER）制度に依拠して作成されていることを確認した。
その他の論点	申請書、証拠書類等を文書上で確認し、関係者に電話によるインタビューを行い、関連する許認可及び関連法令等の遵守状況、環境影響評価及び環境測定、住民説明会の実施状況を確認した結果、現地における実査を踏まえていないため、デスクレビュー及びインタビューによって判明した範囲において、当プロジェクトの申請書におけるその他事項において重要性の点から適正に表示されており、オフセット・クレジット（J-VER）制度に依拠して作成されていることを確認した。
認証運営委員会への推奨	オフセット・クレジット（J-VER）制度実施規則に基づいて実施された当バリデーションの範囲で、バリデーションプロセス及び手順を進めた結果、本プロジェクトは、ポジティブリストNo. E001の適格性基準を満たし、方法論JEAM001に照らした算定式が設定されており、適格性基準に整合していることが確認された。また、排出削減・吸収量の計算方法、モニタリング方法等については、方法論に則って作成されており、ルールへの準拠性が確認された。 現地における実査を踏まえていないものの、デスクレビュー及びインタビューにおいて判明した範囲において、本プロジェクトが、オフセット・クレジット（J-VER）制度に依拠して作成されていることを確認し、本プロジェクトに対しオフセット・クレジット（J-VER）認証運営委員会による登録を行うことを推奨する。

### (3) パブリックコメントの概要

該当箇所	ご意見
申請書 C.1 ポジティブリストの適格性基準	意見募集期間中、1件の意見をいただいた。 受付日：2010年2月1日（月） 職業：団体職員 意見内容：投資回収年数の考え方について プロジェクトの実施による木質バイオマスへの転換で、収支が改善する内容である。しかし、投資回収年数計算のため、町が公的負担で実施する材の収集までをプロジェクトの投資として参入しているのはおかしいのではないかと。当該

	<p>プロジェクトの対象は、材の運搬からであり、材の収集については排出削減量の算定で考慮する範囲から外れているものである。よって、トラックへの投資は算定に加えても差し支えないと思われるが、収集作業にかかる機材や人件費を投資と見るのは、不適切ではないか。</p> <p>バリデーションチームの見解：</p> <p>本意見については、確認シートのやり取りおよび電話インタビューにおいて申請者に確認したところ、森林の伐採については町が別の委託事業として実施しており、当該事業では林地残材の山元までの回収は委託として含まれておらず、切り捨て間伐であるとの主張を得た。その証跡として、委託契約書等の提示も求めたところ、切り捨てであることを証明できる文書は存在しないということから、文書レビューであることを勘案し、インタビューによる申請者からの主張により判断せざるを得なかった。よって、材の収集に伴う人件費、機材を投資として算入することも妥当と判断した。</p>
--	---

#### (4) 認証運営委員会の結果

第12回オフセット・クレジット（J-VER）認証運営委員会（平成22年3月29日）においてプロジェクト登録が承認された。